

問2.小学校について伺います。お子さんが通う（中学生は卒業した）小学校について、どう考えますか。記号を○で囲んでください。

ア 統合が望ましい

イ このまま存続がよい

構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

学 校 名	問 2		
	統 合	存 続	無 回 答
久住中学校	69.0%	16.7%	14.3%
久住小学校	63.6%	36.4%	0.0%
久住地区未就学	72.2%	27.8%	0.0%
白丹小学校	50.0%	50.0%	0.0%
白丹地区未就学	40.0%	60.0%	0.0%
都野中学校	28.6%	42.9%	28.6%
都野小学校	40.7%	59.3%	0.0%
都野地区未就学	61.9%	38.1%	0.0%
直入中学校	23.3%	73.3%	3.3%
直入小学校	26.8%	73.2%	0.0%
直入地区未就学	23.5%	76.5%	0.0%
城原小学校	63.6%	36.4%	0.0%
城原地区未就学	57.1%	42.9%	0.0%
菅生小学校	27.3%	72.7%	0.0%
菅生地区未就学	62.5%	25.0%	12.5%
合 計	45.7%	50.5%	3.8%

問3.問2で「ア」を選んだ方は、その理由を選んでください。（複数回答可）

ア 児童数が少な過ぎて活動が制限される（複式学級解消を含む）

イ 多人数で切磋琢磨することによって教育効果が期待できる

ウ 友だち関係が固定され、将来の人付き合いが不安である

エ 先生への依存度が強くなり、自主性が育ちにくい

オ その他（ ）

学 校 名	問 3				
	統合理由				その他
	児童が少ない	切磋琢磨される	友達関係が固定される	先生への依存	
久住中学校	27	22	17		1
久住小学校	17	17	16	1	
久住地区未就学	11	9	11	1	1
白丹小学校	3	3	1	1	
白丹地区未就学	4	3	1	1	
都野中学校	4	3	2		
都野小学校	11	9	10	3	1
都野地区未就学	13	10	10	3	
直入中学校	7	5	4	3	1
直入小学校	10	6	5	3	
直入地区未就学	7	4	2	2	
城原小学校	5	4	6	2	1
城原地区未就学	4	2	2		
菅生小学校	3	2			
菅生地区未就学	4	5	2	1	1
合 計	130	104	89	21	6

【オ その他 意見】

- ・現状、クラス替えもなく、同級生の中で序列が固定されていて努力する気が沸いてこない。
- ・子ども同士の関わり合いで、もめる機会が多く出ている。

- ・将来、竹田市外の高校に行ったときに対応できない子が多いため。
- ・教育予算の分散化。
- ・保護者の関係性も密になりすぎないほうが良いと考えます。
- ・全国的な学力と協調性を広げるため。
- ・コミュニケーション能力を多人数の中でつけるべき。

問4. 問2で「ア」を選んだ方は、統合の進め方を選んでください。

(複数回答可)

ア 旧自治体単位で統合を進めるべきだ

イ 将来(10~20年先)を見据えて、市単位で大規模校を考えるべきだ

ウ 統合は、保護者、地域住民自らの話し合いで進めるべきだ

エ 統合は、行政の計画で着実に進めるべきだ

オ 統合は、行政と保護者・地域住民自らの話し合いで進めるべきだ

カ その他()

学 校 名	問 4					
	統合のイメージ					
	旧自治体単位	10年先 20年先市単位	保護者 地域話し合い	行政の計画で	行政・保護 者・地域住民	その他
久住中学校	12	14	4	8	8	
久住小学校	8	11	2	6	8	
久住地区未就学	4	6	2	2	9	2
白丹小学校	1	1	1			
白丹地区未就学	3	2		2	1	1
都野中学校	1	4		1	2	
都野小学校	4	8	1	4	2	
都野地区未就学	2	9	1	2	5	1
直入中学校	1	3	1	1	5	
直入小学校	1	7		2	6	1
直入地区未就学		6	4	3	3	1
城原小学校		4	1		5	
城原地区未就学	2	2	1		2	
菅生小学校		1		1	1	
菅生地区未就学	1	3	1	1		1
合 計	40	81	19	33	57	7

【カ その他 意見】

- ・1クラス20人以上、1学年2クラス以上が望ましい。
- ・統合は、行政と在校生の保護者及び未就学児の保護者との話し合いで進めるべき。

- ・ 5年後複式学級になる学校及び既に複式になっている学校は速やかに統合に向け計画すべき。
- ・ 統合するにあたって誰のためのものかを第1に考えてほしい。行政や地域の意見も大切だと思うが教育を受けるのは子どもたちなのだから子どもたちにとって1番良い環境となるよう考えるべきだと思う
- ・ グローバルな見方で考えるべき。
- ・ 地元の意見も大切ですが、当事者の意見も重視してほしい。
- ・ 児童がより楽しく学校生活を過ごせることが前提で大人がしっかり話し合いをするべきです。
- ・ 子どもの将来のことを考えて統合するしかないと思う。行政・地域の固定概念より子ども自身の成長を一番に考えてほしい。

問5. 問2で「イ」を選んだ方は、その理由を選んでください。（複数回答可）

ア 児童一人一人に目が行き届き、きめ細やかな教育ができる

イ 児童会活動などでみんなに活躍の場がある

ウ 一人一人のつながりが強く、人間関係が深まる

エ 学校が地域の核であり、活性化の場となっている

オ その他（ ）

学 校 名	問 5				
	存続の理由				
	一人一人に目が届く	児童会活動など活動の場	一人ひとりつながりが強い	学校が地域の核	その他
久住中学校	4	2	2	2	
久住小学校	10	5	4	3	
久住地区未就学	3	1	3		
白丹小学校	4	1	2	3	1
白丹地区未就学	4	2	1	4	1
都野中学校	4	3	2	2	1
都野小学校	10	6	6	6	4
都野地区未就学	5	3	4	3	2
直入中学校	12	9	5	18	1
直入小学校	20	11	14	17	3
直入地区未就学	21	7	7	8	3
城原小学校	4	4	2	3	
城原地区未就学	3	1	1	3	1
菅生小学校	6	4	4	3	2
菅生地区未就学	2	1	1	2	
合 計	112	60	58	77	19

【オ その他 意見】

- ・コロナ対策上の面でも有効。集団教育はリモートでも可能。
- ・歩いて行けるから。遠くに住んでいても集団登校の集合場所からは歩いて行ける。

- ・ひとり親家庭では送迎等の問題があるので、何とも言えない。
- ・歩いて通えて色々考えなくて済む（・早く起きる・バスに間に合う・忘れしないように言う等）
- ・直入は既にひとつになっている。
- ・小規模校のデメリットは工夫すればメリットに変わる。
- ・小学4年生まで過ごしたので、同じ場所で卒業してほしいから。
- ・在校生の子どもが希望しているから。
- ・久住、都野、直入とも人数の減少はありますが、令和14年まで20人以上維持できているので、現在のままでよいのではと思います。
- ・まだ複式になっていないから。
- ・家から通うべき。バスでは育まれないことが多い。
- ・学校がなくなることで移住者と定住者が減る可能性がある。
- ・目先のことではなく将来の推計を基に決めてほしい。こどもの数は少なくなる一方なのはわかっていること。
- ・歩いて行けるから。スクールバスも慣れてしまえばどうもないかもしれないけど、歩いていくって大事だと思います。
- ・通学距離が長くなると不安。
- ・自宅から歩いて通えるところに小中学校があるべき。

問6. 問2で「イ」を選んだ方は、いつまでの存続が妥当か1つ選んでください。

- ア 自分の子どもが卒業するまで
- イ 複式学級が1つできるまで
- ウ 複式学級が2つになるまで
- エ 子どもがいる限り

学 校 名	問 6			
	いつまで存続			
	自分の子ども卒業ま で	1つの複式	2つの複式	子どもがいる限り
久住中学校	1	1	1	3
久住小学校	1	5	4	2
久住地区未就学	1	2	1	1
白丹小学校	1			3
白丹地区未就学	2			3
都野中学校		1	1	2
都野小学校	1	1	5	5
都野地区未就学			2	5
直入中学校	1	10	5	5
直入小学校	4	13	7	4
直入地区未就学	4	10	2	9
城原小学校				3
城原地区未就学			1	2
菅生小学校	2			6
菅生地区未就学				3
合 計	18	43	29	56

